

## つちだりポート

### 2015年都市対抗野球東京都代表に向かって

別途資料から戦い方(戦略・戦術)、監督の意図を理解し選手一人ひとりが自分に与えられた役割を成し遂げる事が出来れば代表獲得も実現する。

今まで観戦レポートで1点の大切さと重みについて述べてきた。この1点の攻防を身につけるか否かが都市対抗連続出場チームの底力になって表れている。逆転負け5試合の内1点差の負けは4試合(サヨナラ負け1試合)。2点差は3試合その他完封負け2試合。(公式戦・対戦成績13試合3勝10敗)

観戦およびHP掲載の試合経過報告から再三のチャンスを生かせず得点出来ない場面が多く見られる。

投手も二死から四球を出しピンチを広げ失点、逆転を許す試合が散見される。これらは1点の重みがプレッシャーとなり投打の妨げに成っているのが原因か?否、日頃の練習において実践を踏まえて繋ぐ・進塁打・時には四球を選び、チャンスを拡大してチームの得点能力の向上を図る。1点一点を積み重ねるしぶとい打線が投手のプレッシャーを軽減し良薬となり安心して攻める投球術が生まれ投打がかみ合い、接戦を勝利に結びつける事が出来る。

勝負は1点でも相手より多い方が勝ち、1点でも多ければ負け。

最近の選手諸君をグラウンド内外において観察していると気になることが散見される。私だけの危惧ならばいいのですが?

- \*試合慣れし緊迫感が感じられない
- \*勝負への闘争心が感じられない
- \*ベンチ・守備陣からの声が少ない。特に投手への激励・励まし
- \*チームの和・一体感を前面に出して泥臭く戦う姿勢が見受けられない。

精神論で勝負は勝てませんが各自が持てる能力を十分発揮しグラウンドにその力をぶつけて勝利を呼び込んで下さい。

その他私見ですがチャンス時に早打ちが目立つ。好球必打はセオリーだがゆっくり自分の好きな球をセンター返しも肝心かと思う//

投手は積極的に攻め投手有利のカントで勝負特に1ボール2ストライクのときはその日の調子の良い球で勝負//バッター有利のカントは避け特に3ボール2ストライクは避けたい。

バックを信頼し打たせるピッチングを常に心がけ5~7回の失点を防御すれば今年の試合運びでは勝利の確立は高い、投手諸君野球はピッチャーが勝利の鍵を握っている。

打表枠は4チーム、対戦相手は5チーム一球一打に集中し勝ちにこだわり一戦一戦に全力を尽くし勝利の喜びを明治安田生命硬式野球部のファンと共有しようではありませんか。

明治安田生命硬式野球部ファンは選手諸君を信じ東京ドームで選手諸君たちを大声挙げ、声の続く限り応援することに生きがいを感じております。

今年も、つちだりポートを記述出来る喜びを感じております。

東京ドームの道は大田スタジアムからです。皆さん大田スタジアムで応援致しましょう

各資料は

明和会 HP 野球部より抜粋

公益財団法人日本野球連盟 HP より抜粋

2015年5月14日

土田 唯雄